

第2回定例会
9月議会

認知症あんしんプロジェクト事業

住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援

一般会計補正予算案を全会一致で可決

令和2年第2回定例会9月議会が9月8日から10月15日まで開かれました。認知症あんしんプロジェクト事業等の経費を含む令和2年度一般会計補正予算(第6号)や高齢者のインフルエンザ予防接種を無料化する経費等を含む一般会計補正予算(第7号)など、議案16件、諮問1件を可決・同意、報告9件を了承、請願1件を採択、また、令和元年度決算13件を認定しました。

9月30日の本会議では、認知症あんしんプロジェクト事業費3億3220万円を含む令和2年度一般会計補正予算(第6号)を全会一致で可決しました。

認知症あんしんプロジェクト事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により介護サービスの制約など、日常生活に支障が生じている在宅の要支援・要介護認定者をはじめ、認知症の人やその家

族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援を行うものです。

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、在宅介護あんしんサポート交付金として、在宅の要支援・要介護認定者に1万円を支給するほか、認知症の診断を受けている人には、さらに2万円を上



みんなて支えるやさしいまち

乗せ支給します。対象者には10月中旬に案内を送付し、申請により支給します。また、認知症の交付金対象者には(仮称)あかしオレンジ手帳と1泊2日のショートステイが利用できるお泊り券など、3種類のサポート無料券を配布します。手帳とサポート無料券は来年1月に送付する予定です。審査を行った文教厚生常任委員会では、委員から、本事業は国からの交付金を財源としているが、来年度以降も継続できるのかと質問があり、市からは、交付金の支給は今年度のみと考えているが、認知症の人への支援は今後も継続していきたいとの答弁がありました。

ウィズコロナ 一緒にがんばろう 飲食店などへ助成金

生活文化常任委員会では、ウィズコロナ感染対策助成金「ウィズコロナいっしょにがんばろう応援金」について審査を行いました。原案どおり承認しました。

この助成金は、飲食店を中心とした店舗に対して、新型コロナウイルス感染症予防対策のための費用を助成するものです。

助成金額は1店舗につき5万円で、申請の取りまとめを行う飲食関係組合や商店街などの団体に対しては、加盟店舗数が50店舗未満の場合は50万円、50店舗以上の場合には100万円を各団体に支給します。11月1日から市内商店街などに申請書を発送します。申請期限は令和3年1月31日です。

委員からは、県と同様の助成制度があるが、市が実施する必要があるのかとの質問がありました。

市からは、県の助成制度は申請期限が9月末までとなっており、補助額である10万円以上の感染防止対策が必要である。一方、市の助成制度は、飲食関係組合や商店街などを通じての申請となる

が、1店舗に5万円を補助するため、対策に多額の費用をかけることが難しい小規模事業者も補助を受けることができる。また、飲食関係組合や商店街などに対策費用を補助することにより感染症対策が広がるとともに、組合への加入促進効果も期待しているとの答弁がありました。



安全な市民生活と経済の両立のために

も	2	市政を問う 20人が登壇 質疑・一般質問	4	コロナ対策の補正予算を審議 7月臨時会の概要	7	市議会としての意見など 決算認定にあたり 出された意見
く	3	請願・意見書	4	今年度の重点的な取り組みは 委員長に聞く	8	各議員の議案等に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧
じ	3	議員よもやま話	6	昨年度の予算執行をチェック 令和元年度決算を認定		

マチイロ
市議会だよりを
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロードが必要です。